親和会だより

令和3年秋号　No15　　発行・令和3年11月18日

親和会の基本理念

私たちは、利用者の個人の尊厳を大切にし、障害者が地域の中で自分らしく生きるための支援を行うとともに、地域に開かれ信頼される法人運営をめざします。

社会福祉法人　親和会
理事長　山本　久喜

〒997-0024
鶴岡市朝暘町4-10
（法人本部）

TEL：0235-64-1769
FAX：0235-24-5335
Mail：info@sinwa-kai.or.jp
ＨＰ：http://sinwa-kai.jp

※　書家の梅津玄雲氏（元さごし利用者）に揮毫していただきました。

第３回俳句・川柳・短歌大会を開催しました

親和会では、８～10月に第３回「俳句・川柳・短歌」を開催し、27名41作品の応募がありました。

今回は、前回と同じく審査委員として理事・監事のほか、特別審査委員として新俳句人連盟副会長で俳人の工藤博司先生も参加し、大賞と特別賞を選びました。

大賞
風走り鈴の音かわる虫の声　　やまびこ　阿部　仰

特別賞
水遊び母よぶ声もマスクして　　やまびこ　阿部　仰

準大賞
アスリートまばゆいまでの笑顔かな　　やまびこ　佐藤　彰

佳作
貝殻を耳にあてつつ潮騒をきく　　あすか　信田　真弓
太陽の笑顔の山よ秋の風　　さんのう　難波　理智
コロナ禍で夢も希望も巣ごもりで　　さごし　小林　茂樹
こがねいろなみうつさきにいなごとぶ　　あずま　鈴木　知明

俳句・川柳・短歌大会の授賞式

10月15日にやまびこ事業所にて授賞式が行われました。山本久喜理事長より、大賞・特別賞を受賞した阿部仰さん、準大賞を受賞した佐藤彰さんに賞状と記念品が贈られました。

大賞・特別賞を受賞した阿部仰さん（中央）と準大賞を受賞した佐藤彰（右）さん

大賞・特別賞を受賞して　　やまびこ　阿部　仰さん

このような賞をいただき、ありがとうございます。

大賞の句は、風も走り出し、風鈴の音も虫の声に変わる様を句にしたものです。晩夏に秋が感じられ、季節が過ぎていくことが愛おしくも淋しく思われました。

猛暑・コロナ禍に水遊びではしゃぐ子ども達の声は、日々の営み・ストレス社会における生活のあり方・母が子を子が母を思う愛・生命力が感じられ、マスクをしていてもキラキラしていました。コロナ禍をきっと乗り越え、克服する力を持ちたいと思います。

準大賞を受賞して　　やまびこ　佐藤　彰さん

コロナ禍で開催の賛否があった中、東京オリンピック・パラリンピックが無観客での開催となりました。アスリートの皆様は、コロナ禍で満足な練習もできなかったと思われました。その中で私は女子ボクシングの入江選手、判定のリング上で喜びを爆発させ、まばゆいまでの笑顔が印象的でした。気がつけば日本のアスリートが躍動しメダルラッシュ。

機会がありましたら次回も出品したいと思います。

寸評　　工藤博司（俳人・新俳句人連盟副会長）

応募作品が41にも及び、みなさんの熱心な姿に感心しました。**〈水遊び母よぶ声もマスクして　阿部仰〉**は、コロナ禍にあっても元気で水遊びに夢中な姿をとらえ、ことばに無駄がなく、句がいきいきしています。

〈風走り鈴の音かわる虫の声　阿部仰〉は、風によって虫の声が変化した様子を感覚するどくとらえ、季節感が十分表現されています。**〈目に見えぬ未知のウイルスお先闇希望の光ワクチンとうよ　Ａ・Ｍ〉**は、コロナ禍のきびしい現実と、その先にある希望の両面をきっちりとらえ、いかにも現在らしい作品として完成しています。なお、「とうよ」は漢字の「投与」にした方が実感が出ます。

〈貝殻を耳にあてつつ潮騒をきく　信田真弓〉は、詩情豊かな、若々しい作品で心が洗われます。**〈父は今テレビ電話で講座するなかなか会えないつまらない日々　阿部智樹〉**は下句の「つまらない日々」が感情が生なので、「日の続きおり」でどうでしょう。**〈短パンは女ごころの夏の恋　小林茂樹〉**の句の明るいユーモアにも惹かれました。

【特別審査委員　工藤博司先生の略歴】
・1937年生まれ。酒田市在住
・元・生活協同組合共立社常務理事
・現・新俳句人連盟副会長
・俳句作品（工藤博司・作）
　さくらんぼどれにもまなこあるような
　父の音母の音する瀬戸風鈴
　月山の土を涼しと牛の胴

コロナに負けず レクリエーションしたよ！

やまびこ

10月1日（金）に佐久間利兵エ観光農園にぶどう狩りに行ってきました。
あいにくの雨模様の天気でしたが、農園内はハウスの為、天候に関係なくぶどう狩りを楽しむことができました。
オーナーさんのユーモアでいろいろなプレートがあり、粒食べのぶどう狩りは日本初と新しい発見もありました。
利用者さんからは「去年と同じ場所なので今年は落ち着いて、自分の好きなぶどうを沢山食べられました」「昨年は、ちょっと動揺して夢中で食べてしまって」「また、同じメンバーで、皆で来たいの」などの話もあり、久しぶりのレクリエーションを楽しむことができたと思います。

プレートがユニークです！

あすか

10月6日（水）に芋煮会を開催しました。あいにくの曇り空のため、室内での開催となりました。
お昼においしい芋煮ときのこ御飯を食べた後、午後はジェスチャーゲームと事務局長によるミニコンサートを開催しました。
今回のジェスチャーゲームでは、職員だけでなく利用者の方からもジェスチャーをしてもらいました。「渋柿」や「ヨガ」「サーフィン」、はては「俳人」など、難しいお題にチャレンジ！会場は笑いの渦に包まれました。
次いで、事務局長のギターの弾き語りによる熱唱。会場にいる皆さんは、局長の甘い歌声にうっとり。終わった後は「アンコール」の声が響きました。
最後に、甘くておいしいシャインマスカットをいただきました。

さんのう

10月8日（金）に陶芸＆スイーツ作りを行いました。
陶芸は松ケ岡で行い、先生の説明を聞いてコップや湯飲み、お皿を作りました。思い思いの形に作り、出来上がりが楽しみです。
事業所に戻り、芋煮とおにぎりの昼食を食べ、午後からはスイーツ作りを行いました。
シャインマスカット、カステラ、生クリーム、アイスなど自分でトッピングしたパフェは最高。
そのあと、カラオケを楽しみました。
和気あいあいと過ごした一日でした。

甘いっけの～

さざし

9月25日（土）、レクリエーションとして久しぶりに「白糸の滝ドライブイン」に行ってきました。
当日は、天候にも恵まれ、絶好のレク日和でした。
「白糸の滝ドライブイン」では最上川を眺める方、買い物を楽しむ方、到着すると売店に直行して・・「うどん」を食べる方。
皆さんそれぞれ有意義な時間を過ごすことができました。

あずま

10月30日（土）に、あずま事業所にて映画鑑賞会を行いました。
上映した映画は「シン・ゴジラ」！ゴジラの登場シーンは、大いに盛り上がりました。
当日は、プロジェクターを準備するなど工夫をし、映画館の雰囲気を演出しての上映会となりました。
利用者の皆さんも「大きい画面はいいのぉ」と大好評。大変楽しい上映会となりました。

勤続10年・表彰式を行いました

親和会では、10月1日（金）に勤続10年の職員を対象に表彰式を行いました。
理事長から「10年の長きにわたり親和会を支えていただきありがとうございました。これからもよろしくお願いします」と感謝の言葉が伝えられました。
職員からは「ありがとうございました」とお礼の言葉がありました。

酒田GH　高橋セツ子さん

総務　大佐賀さち子さん

事務局長　本間清明さん

はじめまして！

親和会に、新しい職員が加わりました。
自己紹介をしていただきましたのでご紹介します。
これからもよろしくお願いします。

酒田グループホーム世話人
小松原　薫さん

以前は高齢者施設で働いておりました。しばらく家にいて物覚えも悪くなり、勤まるかどうか心配な面もありました。周りの方々が声をかけてくれるので心強く思っております。
利用者の方々は家を離れて暮らしているので、食事が一日の楽しみの一つになるように頑張っていきたいと思います。